

近年の温暖化の影響により、夏季が長くなる一方、その他の季節は徐々に短くなっている印象がある。古より、わが国には四季に応じた美味しい食材がいろいろとあり、旬の食材をその時期に食す、といった文化が定着している。しかし、最近では季節と無関係にすべての食材が手に入るようになり、加工食品やレトルト食品などを利用する機会も多くなり、旬の食材を食する文化が少しずつ薄れている印象である。

本特集では、「血液浄化法に応じた食と栄養」というテーマで、わが国で行われている様々な腎代替療法について、それぞれの治療法に見合った食と栄養について、エキスパートの先生方から執筆いただいた。

透析患者の食と栄養については、これまでは「食事の量」の視点から論じられることが多かったが、最近では「食事の質」の重要性が見直されている。たとえば、透析患者のリン管理においても、まずは必要なエネルギーとたんぱく質を確保したうえで、①リン/たんぱく質比の少ない食材を選ぶ、②吸収率100%の無機リンを含む加工品やレトルト食品は避ける、③リン吸収率が40%と低い植物性たんぱく質（大豆中心）をしっかりと摂取する、といった「食事の質」を優先した栄養指導が有用とされる。

超高齢社会が成熟するなか、新たな「日本人の食事摂取基準2025」ではたんぱく質摂取量の上限を取り外す方向と聞いている。透析患者においても、地域在住高齢者における「健康食」の潮流を理解したうえで、旬の食材を中心とした良質な食と栄養を推奨する時代、と感ずるこの頃である。（加藤明彦）

超高齢社会が成熟するなか、新たな「日本人の食事摂取基準2025」ではたんぱく質摂取量の上限を取り外す方向と聞いている。透析患者においても、地域在住高齢者における「健康食」の潮流を理解したうえで、旬の食材を中心とした良質な食と栄養を推奨する時代、と感ずるこの頃である。（加藤明彦）

2023年(Vol. 39)特集のご案内

- | | |
|--|-------------------------------|
| No.① 糖尿病透析患者の全身管理を極める
—専門医との連携を目指して | No.⑧ 腹膜透析の展開—生き残りをかけた在宅医療 |
| No.② 血液透析導入の処方 | No.⑨ 在宅・長時間透析2023—快適で長生きするために |
| No.③ 透析スタッフのメンタルヘルス | No.⑩ 透析患者の希望（ホープ）を照らす |
| No.④ もっと知ろう 透析患者の栄養と身体評価 | No.⑪ プライマリーナースとしての透析看護 |
| No.⑤ オンラインHDFの基礎から応用 | No.⑫ 血液浄化法に応じた食と栄養 |
| No.⑥ 保存的腎臓療法（CKM） | No.13 透析室のベストな医療安全管理 |
| No.⑦ 透析施設における感染症対策〔増刊号〕 | |

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.39 No.12

© 2023年11月10日発行

定価：2,860円

（本体2,600円＋税10%）

- ・2023年 年間購読料（増刊号含む13冊、税込）
冊子版 39,050円
電子版（個人のみ）39,050円
冊子版＋電子版（個人のみ）44,550円
（詳しくはホームページをご覧ください）
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541